

(学年) 第2学年、(教科・科目) 英語・コミュニケーション英語 I 個別・一斉学習

(単元) Reading Alone

(本時のねらい)

外国の絵本に興味を持ち、作家の朗読を聞いて、作品の内容を楽しむ。また、物語の登場人物の気持ちを考えた上で、作品を音読する。

(ICT活用方法)

従来は付属の音読 CD を聞くだけであったが、より外国の絵本を楽しむために、絵本を電子黒板に投影しながら、作家による絵本の朗読を鑑賞する。また、授業支援クラウドアプリの録音機能を使い、個別に絵本を音読し、それを録音し、評価に加える。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 15分	<ul style="list-style-type: none"> ・新出単語の意味を確認する。 ・作家による朗読を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単語の発音だけでなく、イントネーションや速さにも注意して朗読を聞くよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板で朗読される絵本のページを映しながら、作家による朗読を流す。
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉に音読をする。 ・個別に音読して録音する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音の仕方が分からない単語がないか確認する。 ・録音作業の方法が理解できているか確認する。 ・感情を込めながら音読できるよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業支援クラウドアプリの録音機能を使用し、物語の最初の部分を個別に音読し、録音させる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような点に気をつけて音読したかなどをホームルームで共有する。 	

(授業の様子)



(単語や語句の学習)



(録音作業の様子)

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

普段の教科書の音声 CD とは違い、電子黒板に絵本を投影しながら作家本人による朗読を鑑賞したことで、いつもより興味を持って物語を理解しようとする姿勢が感じられた。また、感情移入もしやすかったように感じた。

授業支援クラウドアプリを使用して録音するのが初めてだったため、最初は操作に戸惑う生徒もいた。一斉の音読では小さな声しか出さなかったり、音読しない生徒も、個別で録音しなければならないため全員が取り組むことができた。

今までは音読テストの時は、1人をテストしている間、他の生徒が待っていたが、録音させることにより、教師もじっくり評価でき、生徒も何度も練習して一番よい出来のものを提出できるため、双方にとって都合が良い方法だと感じた。

しかし、ホームルーム全員分のヘッドフォンがないため、授業時間だけで録音した生徒は周りの生徒の声が録音されてしまったり、自分の声が周りに聞かれるのを恥ずかしがり、小さな声でしか録音できていない生徒もいた。今後も、ICTを活用することを目的とせず、時間の配慮や環境を工夫した授業を実践していきたい。